

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第44週の発生動向

□ トピックス

・インフルエンザ（定点把握対象）：第44週（10/30~11/5）の定点当たりの報告数は1.1と、流行期の目安となる1.0を上回りました。昨シーズンと比較して4週間早い流行期入りです。詳細後述。

□ 全数報告の感染症（44週までに新たに届出のあったもの）

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核4例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。5類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	女	結核性リンパ節炎	つかえ感
			70歳代	男	肺結核	咳、痰
			70歳代	男	無症状病原体保有者	—
			80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱

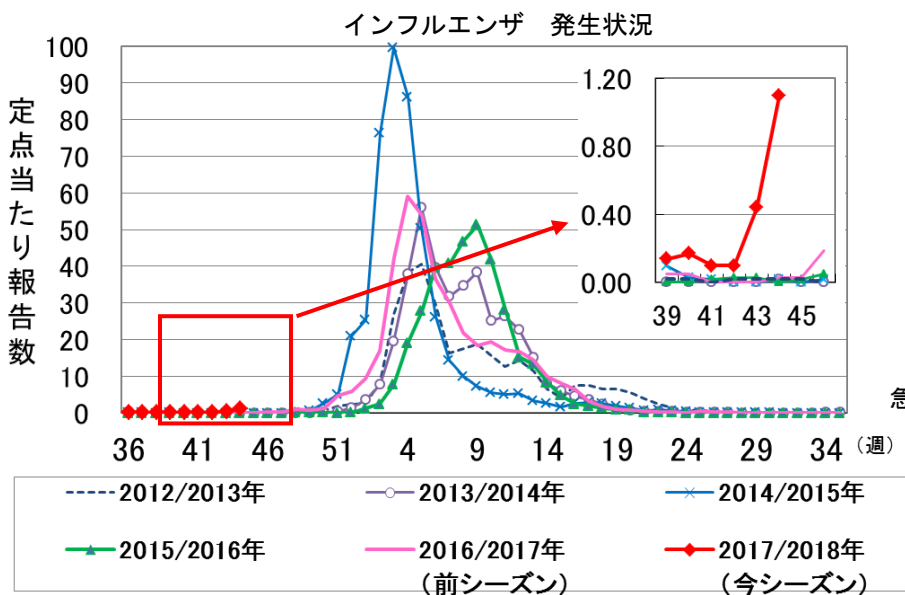
□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は612人（定点当たり18.9）で、前週比103%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと咽頭結膜熱で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎と手足口病である。

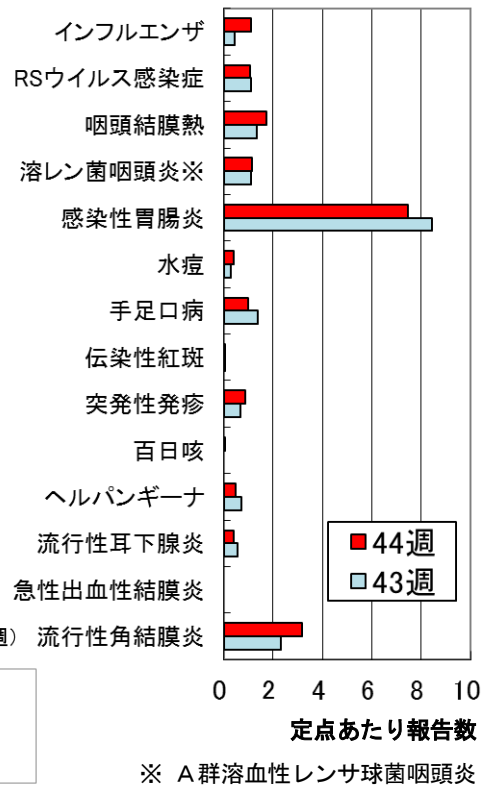
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

報告数は65人（1.1）で、前週比250%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*（0.01）の約110倍である。高鍋、日向（4.5）保健所からの報告が多く、年齢別は10~14歳が全体の40%を占めた。

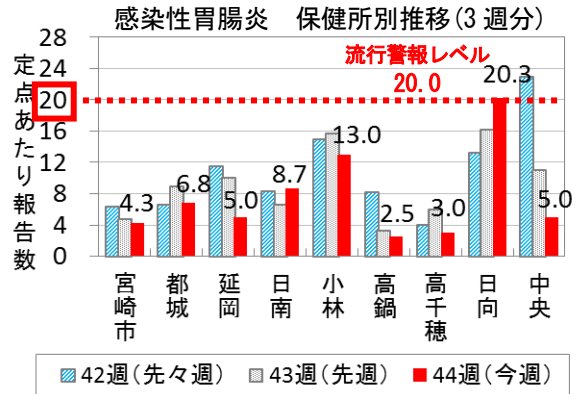
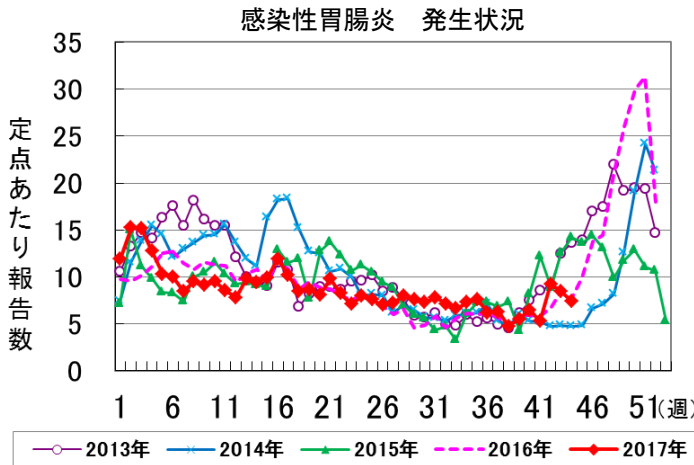


《前週との比較》



【感染性胃腸炎】

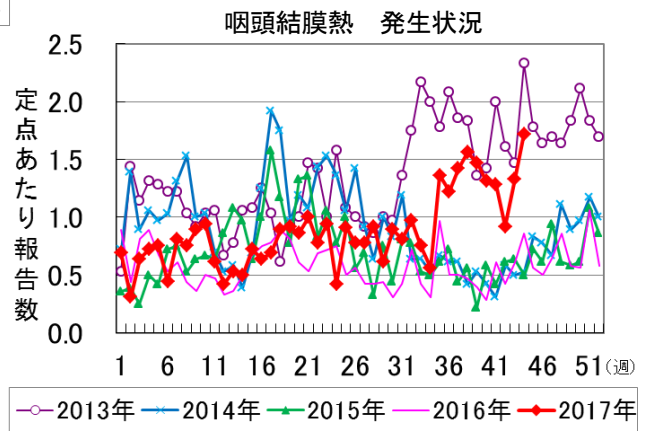
報告数は268人(7.4)で、前週比88%と減少し、例年同時期の定点あたり平均値*(10.6)の約0.7倍である。日向(20.3)、小林(13.0)、日南(8.7)保健所からの報告が多く、年齢別は1~3歳が全体の約半数を占めた。



【咽頭結膜熱】

報告数は62人(1.7)で、前週比129%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値*(0.95)の約1.8倍である。小林(8.3)、都城(4.7)保健所からの報告が多く、年齢別は1~3歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★
報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	咽頭結膜熱(4.7)
延岡	なし
日南	流行性耳下腺炎(3.0)
小林	咽頭結膜熱(8.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	感染性胃腸炎(20.3)
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)

* 流行注意報レベル基準値*

- ・流行性耳下腺炎(3.0)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 平成29年11月6日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0~4歳	男	2017.10.11	下気道炎、咳込み嘔吐	鼻咽頭ぬぐい液	2017.10.24
EPEC(O74:H40)	5~9歳	女	2017.10.18	-	便	2017.10.30
<i>Salmonella</i> Cerro (O18:z4,z23:-)	5~9歳	女	2017.10.18	-	便	2017.10.30
EPEC(O26:HNM)	10歳代	女	2017.10.21	発熱	便	2017.10.29
<i>Salmonella</i> Stanley (O4:d:1,2)	0~4歳	女	2017.10.26	-	便	2017.10.31

○6ヶ月ぶりに *Bordetella pertussis*（百日咳菌）が遺伝子検査により検出された。但し、菌の分離はできなかった。菌の分離には検体の採取方法が重要で、抗菌薬を使用する前に、咽頭ぬぐい液もしくは後鼻腔分泌物（乳幼児の場合）を脂肪酸の含まないスワブ（レーヨン製など）で採取することが望ましい。抗菌薬を使用した後は、遺伝子検査を用いても検出できない場合があり、百日咳が疑われた場合には迅速に検査を行うことが発生動向の正確な把握につながると考えられる。百日咳の検出に関しては、平成28年11月より関連学会が定めるガイドラインの百日咳診断基準における臨床診断例定義を満たす患者に対して、LAMP法を用いた遺伝子検査が保険適用となり、大手検査会社による受託検査も始まっている。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
コクサッキーウイルスB1型	0～4歳	男	2017.09.05	不明の発疹症、38.5℃、発疹(丘疹)	咽頭ぬぐい液	2017.10.24
コクサッキーウイルスA2型	0～4歳	女	2017.09.11	急性脳症疑い、38.6℃、脳症	咽頭ぬぐい液 便(再掲)	2017.10.24 2017.10.20
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	女	2017.09.09	エコーウイルス性発疹疑い、38.0℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2017.10.24
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	女	2017.08.07	手足口病、口内炎	咽頭ぬぐい液	2017.10.24
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2017.08.15	エコーウイルス疑い、38.1℃、発疹(紅斑)	鼻汁	2017.10.24
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	女	2017.08.08	手足口病、39.4℃、発疹(紅斑)	鼻汁	2017.10.24
コクサッキーウイルスA10型	0～4歳	女	2017.07.28	手足口病、水疱、発疹(丘疹)	咽頭ぬぐい液	2017.10.24
エコーウイルス5型 パレコウイルス3型(再掲)	0～4歳	女	2017.09.07	不明熱、39.9℃	血清	2017.10.24 2017.09.27
エコーウイルス5型	0～4歳	女	2017.09.09	不明の発疹症、38.5℃、発疹(丘疹)	咽頭ぬぐい液	2017.10.24
エコーウイルス18型	0～4歳	男	2017.08.21	不明の発疹症、39.0℃、発疹(紅斑)	咽頭ぬぐい液	2017.10.24
エコーウイルス18型	10歳代	女	2017.08.23	デング熱疑い、マラリア疑い、チクングニア熱疑い、39.1℃、咽頭痛、リンパ節腫脹、耳下腺炎、嘔気、嘔吐、頭痛	咽頭ぬぐい液	2017.10.24
エコーウイルス25型	0～4歳	女	2017.08.17	ウイルス性肺炎疑い、38.0℃、下気道炎(肺炎)、嘔気、嘔吐	気管吸引液	2017.10.24
アデノウイルス1型	0～4歳	男	2017.08.23	アデノウイルス感染症、40.0℃、熱性けいれん、上気道炎(咽頭炎)、意識障害	咽頭ぬぐい液 便	2017.10.27

○急性脳症疑いの幼児1名からコクサッキーウイルスA2型(CV-A2)が分離された。エンテロウイルスが疑われる中枢神経合併症症例の場合には検体として髄液が用いられることが多い。しかし、CV-A2やEV-A71などのA群エンテロウイルスは、無菌性髄膜炎の主要な原因となるエコーウイルスなどのB群エンテロウイルスと比較すると、髄液からの検出率が低い。そのため、咽頭ぬぐい液や便等も合わせて検査することが病原体検索には重要となる(IASR:Vol. 38 2017)。

○4名の乳幼児からコクサッキーウイルスA6型が分離・検出された。

🇯🇵 全国2017年第43週の発生動向

□ 全数報告の感染症(全国第43週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	352例				
3類感染症	細菌性赤痢	1例	腸管出血性大腸菌感染症	93例		
4類感染症	E型肝炎	4例	A型肝炎	6例	オウム病	1例
	重症熱性血小板減少症候群	3例	チクングニア熱	1例	つつが虫病	5例
	デング熱	6例	日本紅斑熱	12例	レジオネラ症	54例
	レプトスピラ症	1例				
5類感染症	アメーバ赤痢	16例	ウイルス性肝炎	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	37例
	急性脳炎	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例
	後天性免疫不全症候群	13例	ジアルジア症	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例
	侵襲性肺炎球菌感染症	23例	水痘(入院例)	3例	梅毒	73例
	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	1例	風しん	4例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比107%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと手足口病で、減少した主な疾患は水痘と流行性耳下腺炎である。

インフルエンザの報告数は1,772人(0.36)で前週比150%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.16)の約2.3倍である。沖縄県(4.8)、福井県(2.5)、福岡県(0.91)からの報告が多く、年齢別では4～8歳が全体の約4割を占めた。

手足口病の報告数は6,522人(2.1)で前週比116%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.85)の約2.4倍である。佐賀県(4.5)、愛媛県(4.2)、茨城県、神奈川県(3.7)からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2017年 第44週(10月30日～11月5日)

疾病名		第43週	第44週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	26	65	4		6		1	27		27	
	定点あたり	0.44	1.10	0.25	0.00	0.86	0.00	0.20	4.50	0.00	4.50	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	40	39	6	3	11	2	1	7	1	3	5
	定点あたり	1.11	1.08	0.60	0.50	2.75	0.67	0.33	1.75	1.00	0.75	5.00
咽頭結膜熱	報告数	48	62	3	28	1	1	25	2		1	1
	定点あたり	1.33	1.72	0.30	4.67	0.25	0.33	8.33	0.50	0.00	0.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	40	41	18	8	2	6	3			4	
	定点あたり	1.11	1.14	1.80	1.33	0.50	2.00	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	304	268	43	41	20	26	39	10	3	81	5
	定点あたり	8.44	7.44	4.30	6.83	5.00	8.67	13.00	2.50	3.00	20.25	5.00
水痘	報告数	11	15	7	1	2			3		2	
	定点あたり	0.31	0.42	0.70	0.17	0.50	0.00	0.00	0.75	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	49	35	22	7						6	
	定点あたり	1.36	0.97	2.20	1.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	2	1						1			
	定点あたり	0.06	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	25	32	10	6	4	3	2	3		4	
	定点あたり	0.69	0.89	1.00	1.00	1.00	1.00	0.67	0.75	0.00	1.00	0.00
百日咳	報告数		2	2								
	定点あたり	0.00	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	26	18	3	4	6		4	1			
	定点あたり	0.72	0.50	0.30	0.67	1.50	0.00	1.33	0.25	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	20	15	2	2	1	9				1	
	定点あたり	0.56	0.42	0.20	0.33	0.25	3.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	14	19	11	5	3						
	定点あたり	2.33	3.17	3.67	2.50	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～44週)

2類感染症	結核	159例(4)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	17例				
4類感染症	E型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	13例	つつが虫病	6例
	日本紅斑熱	7例	レジオネラ症	9例	レプトスピラ症	2例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	10例
	急性脳炎	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例
	後天性免疫不全症候群	8例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	14例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	13例	破傷風	5例
	麻しん	1例				

()内は今週届出分、再掲